

平成29年2月25日

研修報告書

会派：まつど自民

大塚 健児

研修:摂食嚥下の基本対応について

日時:平成29年2月25日(土) 18時~20時

場所:松戸市衛生会館3階会議室

次第:1. 摂食嚥下の基本対応について

【研修報告】

この度は第2回松戸市歯科医療懇談会に参加をさせていただきました。

現場の歯科医師と直接交流できる機会は大変有難かったです。



1 摂食嚥下の基本対応について

歯の喪失→かめない→食べられるものが限られる→栄養状態の悪化→身体・精神機能の低下
→身体活動量、体力の低下→生命・生活の質の低下

というスパイラルに繋がります。

なんとかこのスパイラルを抑えるためにも、今回の『摂食嚥下の基本対応』がとても大切になります。

そもそも三大死因

第1位…悪性新生物(ガン)28.5%

第2位…心疾患15.5%

第3位…肺炎 9.9%

肺炎は……

- ① 飲食を誤嚥する ②誤嚥したものが肺に入る ③肺炎を起こす

とにかく肺炎を防ぐために、いかにして誤嚥をしないかの実演訓練をしました。

【ポイント】

- 一口目を少なめに
- 一口ごとにゴックンして飲む(意識して顎を下げる)
- 口に運ぶ食糧は見えないと不安

以上食べさせる側、食べる側と両方を体験し、改めて誤嚥の危機を学びました。

(まとめ)

少し研修内容と外れますが、歯の大切さを知りました。舌だけで食事をするのが、こんなに味気ないのか、お腹の中が満たされた気分になりません。こんな体験は初めてです。

歯がなくなることは、こんなにも大変で、しかも介護職の方々が日々苦労されていることもわかりました。これからは歯がなくなる前の予防策を徹底して提案していきたいと思います。

以 上